

= 時に関する意識・実態調査 第15回『みんなのプレゼント事情』 =

2012年2月7日(火)～2012年3月5日(月)にWEBマガジン「REAL SCALE」上でアンケートを実施

回答者=全国の3,544人 男性:2,257人/女性:1,287人

20歳未満:73名/20歳代:583名/30歳代:971名/40歳代:990名/50歳代:621名/60歳以上:306名

[Q.1] プレゼントにかけた最高額はどれくらいですか？

★最高額のプレゼントは男性の方が高額傾向。気になるその理由

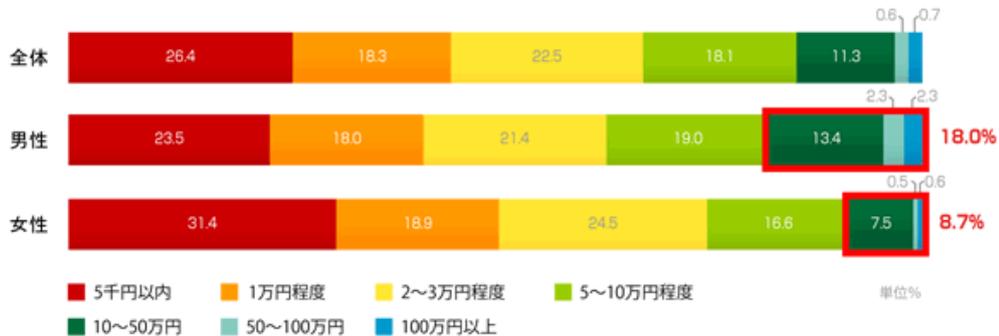
これまでに贈ったプレゼントの最高額、全体では、50万円以内の回答が8割以上を占め、『50～100万円』『100万円以上』の高額回答は、極少数派という結果に。最も多く回答が寄せられたのは、最低額である『5千円以内』の26.4%。次いで低額の『1万円程度』と合わせると、全体の4割以上を占め、意外に多くの方が、堅実派であることがわかります。

最も低額の『5千円以内』の回答では、男性23.5%に対して、女性31.4%と、女性の方が多く、高額と言える、『10～50万円』『50～100万円』『100万円以上』の回答では、女性8.7%に対して、男性18.0%と、男性の方が、およそ2倍の回答を集め、プレゼントにお金をかけているということがわかります。

高額回答を寄せた男性からは、「結婚を申し込む時の婚約指輪は必死で悩みました！（兵庫県・男性）」「指輪を贈りましたね！高いけど気持ちも込めて贈りましたよ！気持ち代も含めると300万円くらいの価値かな！笑（大阪府・男性）」等、“結婚指輪”を贈ったというコメントが多く寄せられました。他には、“自動車”“時計”“旅行”等が多く挙げられています。

一方、女性のコメントでも、“結婚指輪”を除けば、男性とほぼ同様の物を贈っていることがわかりました。どうやら、男性の高額回答の多さは、“結婚指輪”の存在が、大きく関係していると言えそうです。

〈 図1:プレゼント最高額 / 全体・性別 (N=3,544) 〉

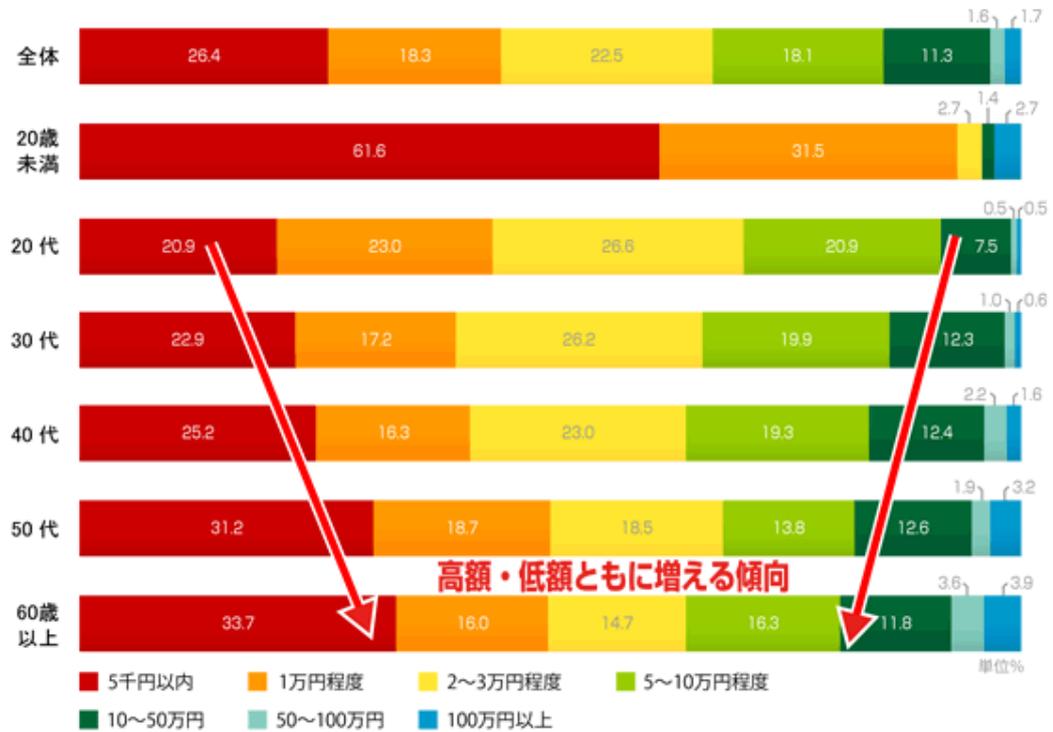


◎世代が上がるごとに二極化するプレゼント事情！堅実派と豪放派

これまでに贈ったプレゼントの最高額、世代別の比較。20歳未満は、他の世代と全く異なり、『5千円以内』『1万円』の回答が、9割以上を占めるという結果に。これは、学生など、非所得者が多いこと等が理由であると推測できます。20代以上の世代に目を向けると、最低額の『5千円以内』の回答が、世代が上がる毎に増える一方で、高額と言える『10～50万円』『50～100万円』『100万円以上』の回答も、増えるという興味深い結果に。

上の世代程、堅実派が多い一方で、機会が訪れた場合は、一世代の高額プレゼントを贈るという二極化が顕著なようです。

〈 図2:プレゼント最高額 / 全体・年齢 (N=3,544) 〉



[Q.2] 最高額のプレゼントは誰に贈りましたか？

◎レアケース！最高額のプレゼントを仕事関係者に

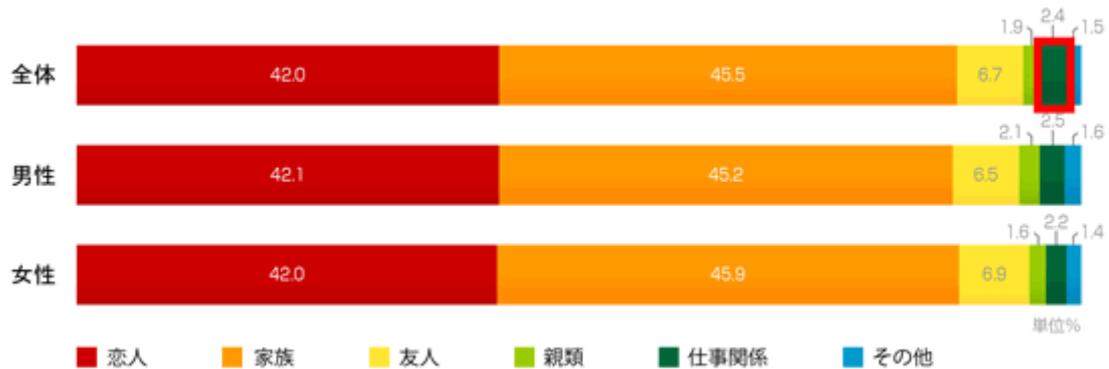
最高額のプレゼントを贈った相手、全体で、最も多いのは、『家族』の45.5%、次いで、『恋人』の42.0%と続き、『家族』『恋人』が回答をほぼ二分する結果に。以降、大きく開いて、『友人』『仕事関係』と続きます。男女別でもほぼ同様の結果で、性別に関わらず、多くの人は、最高額のプレゼントは家族、若しくは、恋人に贈っているようです。

気になるのは、少数派である、『親類』『仕事関係』と回答した方の実態。『親類』と解答された方からは、「姪の結婚に他の姉妹と共同出費で電化製品を。贈ると言うよりも取られた感じです。笑（愛知県・女性）」「親戚の甥っ子の入社祝いに、スーツをプレゼント（静岡県・男性）」等のコメントが寄せられ、甥や姪、孫等、目下の人へのプレゼントが多いようです。

『仕事関係』と回答された方からは、「高級ガラス製品ブランドの、馬の置物を新築祝いに贈りました。10万円位しましたが、とても喜んで頂けました（埼玉県・男性）」「ネクタイ。年齢と地位にふさわしいものをと、結構悩んだ。相手は、気を遣って、翌日締めてきてくれたが、そこまですることはないと思った。異性じゃないので（奈良県・男性）」等のコメントが寄せられました。

同僚、上司、部下、取引先等、仕事関係でもプレゼントを贈る機会は少なからずあると思いますが、これまでの最高額に合ったという方は、わずか9.1%と、やはりレアケースのようです。

〈 図3:最高額プレゼントの相手 / 全体・性別 (N=3,544) 〉



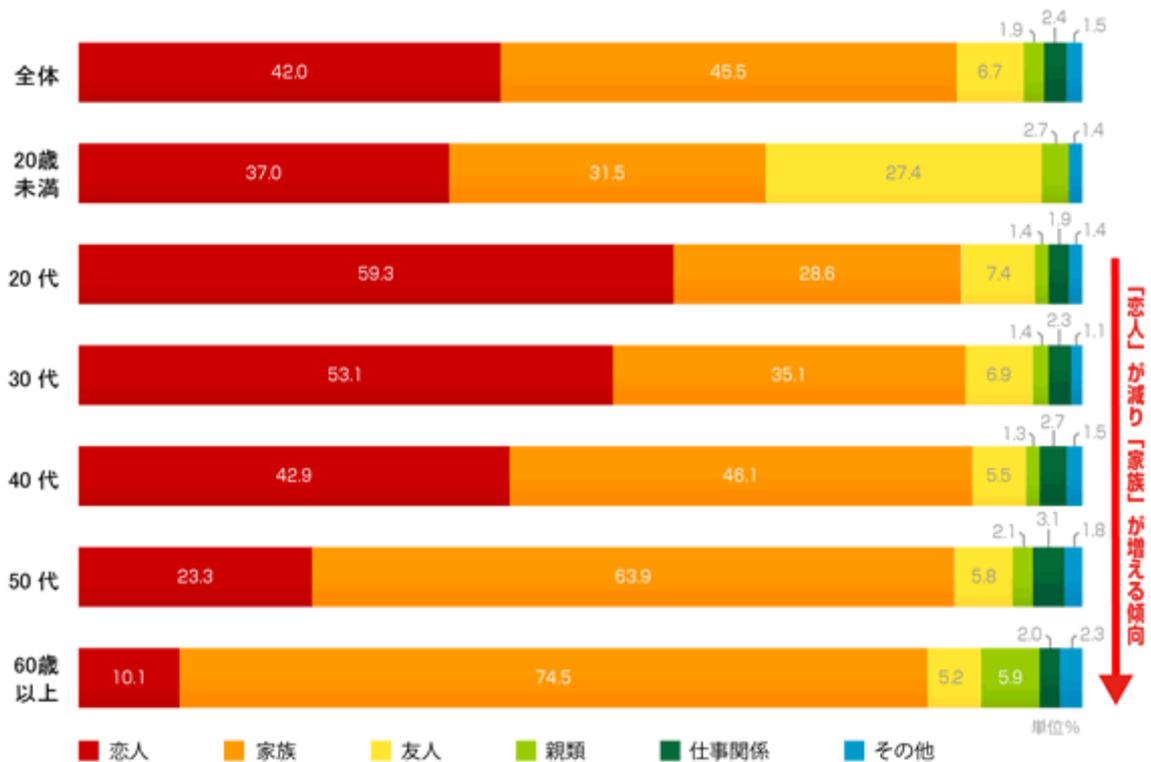
◎恋人から家族へ、世代と共に変わるプレゼント事情

最高額のプレゼントを贈った相手、世代別の比較。20歳未満では、他の世代に比べ『友人』の解答が多く、『恋人』『家族』も近い割合で続きます。20代以上では、世代が上がる程に『恋人』が減り、『家族』が増えるという結果に。世代が上がるに連れ、恋人が夫婦になる、子供、或いは孫が生まれる等、恋人の存在感が減る一方で、新しく家族と呼べる人が増える等、大きく人間関係が変化することを考慮すると、妥当な結果であると言えそうです。

結果、『恋人』の解答が最も少ないのは、60歳以上ですが、その少数派の方から寄せられたコメントに注目すると、「恋人時代の奥さんに贈った」という内容が多く寄せられました。

しかし、その一方では、「彼女の自動車学校の費用30万円、店の改装資金の足しとして90万円、誕生日のプレゼントに指輪と温泉旅行。二股ではありませんが、どの彼女も一番喜んでくれたのは誕生日等の記念日に贈った花束でした（愛知県・男性）」と、最高額のプレゼントは、今の奥さんではなく“かつての恋人”に、ということを窺わせる方もいらっしゃいました。

〈 図4:最高額プレゼントの相手 / 全体・年齢 (N=3,544) 〉



[Q.3] 最高額のプレゼントの選定にはどれくらい時間をかけましたか？

★長時間！悩みに悩んだプレゼント、気になる相手のリアクション

プレゼントを選ぶ際には、相手との関係性、好み、それに加え、こちらのお財布の事情等、思い悩む要素も多く、時間がかかることも多いのではないのでしょうか。

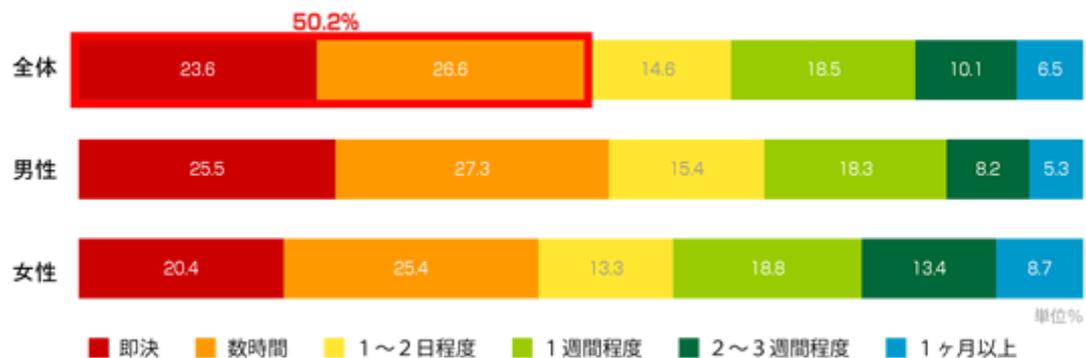
最高額のプレゼントの選定時間、全体では、『数時間』が 26.6%で最も多く、次いで多いのは、『即決』の 23.6%という結果に。意外にも、約半数の方が、人生最高額のプレゼントは、数時間以内に選んでいるようです。

男女別では、『2～3週間程度』『1ヶ月以上』等の長時間解答では、女性の方が多く、一方の、『即決』『数時間』の短時間解答では、男性の方が若干多くなり、女性の方が選定に頭を悩ませる傾向にあるようです。

長時間悩まれた方から寄せられたコメントでは、「恋人に、何をあげたら喜んでもらえるかが分からなくて、かなり悩みました。でも悩んだ末に決めた旅行プラン、気に入ってもらえました！（愛知県・女性）」「母への誕生日にバッグをプレゼントしました1ヶ月以上もいろいろな店にいて選びました。プレゼントしたら母が思いっきり喜んでくれて涙目になっていました（愛知県・女性）」等、悩んだ結果、とても喜ばれたというコメントが大変多く寄せられました。

しかし、例外もあるようで、「時間をかけて選んだわりにそんなに喜んでもらえなかった（青森県・女性）」「時間をかけて選んだが意外とあっさり受け取られた（東京都・男性）」等、相手のリアクションに肩をすかさされたというエピソードも。時間をかけて選んだだけに、その落胆ぶりが想像できます。

〈 図5:最高額プレゼントの選定時間 / 全体・性別 (N=3,544) 〉



★感謝の大きさに比例？プレゼント選びに最も時間がかかるのは20代

最高額のプレゼントの選定時間、20代以上の世代では一定の傾向が見られ、若い世代程、選定に時間をかけ、上の世代程、時間がかからないようです。最も時間がかからない『即決』の解答は、20代の16.8%から徐々に増え続け、60歳以上では、20代のおよそ2倍、33.0%となっています。人生経験と共に、相手の好みと、プレゼントのツボを心得え、悩む時間が減るということでしょうか。

最も時間をかけているのは20代ですが、言い換えれば、プレゼント選びで最も悩む世代と言えそうです。

20代の方からは次のようなコメントが寄せられました。「母の誕生日に欲しがっていたコートをプレゼントしました。生まれて初めてのプレゼントだったので泣いて喜ばれました。プレゼントした自分も何故か泣きそうになりました（岐阜県・男性）」「母に、就職してから初めてもらったボーナスでブランド物のバッグを贈りました。以前、ショッピング中に“いいなあ”と言っていたのをリサーチして、内緒で購入して驚かせました（長崎県・女性）」等、他にも、初めて手にした収入でプレゼントを贈った等のエピソードが多数寄せられました。

高額であるのはもちろん、改めて、お世話になった人へ、感謝の気持ちを表すプレゼントであることが、20代を悩ませている要因の一つであると言えそうです。

〈 図6:最高額プレゼントの選定時間 / 全体・年齢 (N=3,544) 〉

